

だい ぶ かだい
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい
第15回
まいにち にゅうりよく
毎日パソコン入力コンクール
とう き たい かい
冬季大会
か だい
【課題】
だい ぶ わぶん しょうがくせいこうがくねん
第5部 和文A 小学生高学年
かんようく
ことわざ・慣用句②
せいげんじかん ぶん
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう
【コンクール当日の注意事項】

1. この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
2. 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
3. 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

※この課題は、小学館 例解学習ことわざ辞典 第二版より引用しました。
(文字数2,200字程度)

かだいぶんしょう きんそくもじ
〈課題文章の禁則文字について〉

毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでいるため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルどおりに入力すると正解になります。

しゅさい
主催

まいにちしんぶんしゃ
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん にほん のうりよくけんていいいんかい
一般社団法人 日本パソコン能力検定委員会

こうえん
後援


そうむしょう
総務省


もんぶかがくしょう
文部科学省


こうせいろうどうしょう
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう
経済産業省ほか

ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく
1行32字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


ふた へん じ
二つ返事 


こころよ
快く、すぐ返事へん じをすること。 

ふた へん じ
二つ返事ふた へん じでたのまれ事ごと ひを引き受ける。 





い
言うまでもない 


わざわざ口くちに出して言いわなくても、わかっている。当然とうぜんのことだ。 

いのち
どの命いのちもかけがえのないことは言うまでもない。 





はん
判はんで押おしたよう 


おな かせ へん か
同じことおなのくり返かえしで変化へん かのないようす。 

はん お
判はんで押おしたように毎朝まいあさ五時ご じに散歩さんぽに出でかける。 





み
身を粉こにする 


くろう はたら
苦勞くろうをいやがらずにけんめいに働はたらく。 

ひと りよ ひ
人にたよらないで旅費りよ ひをかせようと身みを粉こにして働はたらく。 





くび たて
首くびを縦たてにふる 


しょう ち さんせい どう い
承知しょう ちする。賛成さんせいする。同意どう いする。 

い
「行いきたくない」と言いい張はって、なかなか首くびを縦たてにふらない。 





はら た
腹はらが立たつ 


しゃくにさわる。おこる。 

あし し
足をふんで知らんぷりとは腹はらが立たつ。 





うおごころ みずごころ
魚心うおごころあれば水心みずごころ 


あいて こう い も
相手あいてがこちらこう いに好意もを持つならば、こちらあいても相手こう いに好意もを持つようになる。 

こう い も
好意こう いを持って接せつすれば、魚心うおごころあれば水心みずごころで、相手あいても好意こう いを持ってくれるものだ。 



て
手が付つけられない 

どうすることもできない。手てのほどこしようがない。おさえようがない。 

きょうりょく だ せん ひ
強力打線きょうりょく だ せんに火ひがついて手てが付つけられない。 



くも うえ ひと
雲の上の人

て とど ところ ひと
手の届かない所にいる人。

あの人^{ひと}はわたしにとっては雲^{くも}の上^{うえ}の人^{ひと}だ。

はち

蜂の巣をつついたよう

て おお
手がつけられないほどの大さわぎになるようす。

せんせい けっこん きょうしつじゅう はち す おお
先生が結婚するとうわさに、教室中が蜂の巣をつついたような大
さわぎになった。

くち

口をはさむ

た にん はなし わ はな
他人の話に割りこんで話す。

ぼくと母^{はは}との話^{はなし}に、姉^{あね}が横^{よこ}から口^{くち}をはさむ。

き

気が置けない

えんりょしたりしないで気楽^{きらく}に付きあえる。気がね^きがない。

おさな おかれ かけ おお なか
幼なじみの彼とは気が置けない仲だ。

ほうふくぜっとう

抱腹絶倒

はら たお おおわら
腹をかかえ倒れるほど大笑いすること。

あまりのおかしさに抱腹絶倒^{ほうふくぜっとう}する。

どうりゅうもん

登竜門

そこをとおると必ず出世^{しゅっせ}できるといわれる、突破^{とっば}するのがむずかしい所^{ところ}

あくだがわしょう

芥川賞は、作家^{さつか}の登竜門^{どうりゅうもん}である。

みどり くろかみ

緑の黒髪

わかわか くろ うつく かみ
若々しくて、黒くつやのある美しい髪。

みどり くろかみ も うつく じょせい
緑の黒髪を持った美しい女性。

はんしんはんぎ

半信半疑

はんぶん しん はんぶん うたが
半分は信じ、半分は疑うこと。

うわさ話を半信半疑^{はんしんはんぎ}で聞く。

なさ

情けは人のためならず

人に親切にすれば、いつかはめぐりめぐって自分の所にもどって来る。
自分のためと思って人には親切にしない。
情けは人のためならず、自分のためでもあるんだよ。

青天白日

心にやましいことがなく、晴れ晴れとした気分のこと。また、無罪であることがはっきりすること。
無実が認められ、青天白日の身となる。

似ても似つかない

少しも似ていない。まるでちがう。
やさしい顔立ちから似ても似つかない乱暴なことばが飛び出した。

伏線を張る

後に述べることを前もってそれとなくふれておく。
前のほうでさりげなくふれて伏線を張る。

飛ぶ鳥を落とす勢い

非常に勢いに乗っているようす。
連戦連勝で飛ぶ鳥を落とす勢いだ。

水と油

たがいに、性格や考え方がちがい、気が合わないこと。
二人はまるで水と油だ。

一皮むける

技術や、姿形が洗練されて、前よりよくなる。
都会暮らしで一皮むけて美しくなる。

取り付く島もない

たよりにして取りすぎる所がない。冷たく見放される。
何を聞いても返事もしてくれず取り付く島もない。

用意周到

用意が細かいところまでゆき届いていて、手ぬかりがないこと。
用意周到に登山のための準備をする。

おお なか すぐ ばっぐん
大ぜいの中で、ずばぬけて優れている。抜群である。 ◀

ぐん ぬ つよ み
オリンピックで群を抜く強さを見せた。 ◀

すん か お
寸暇を惜しむ ◀

あ き じ かん だい じ つか
わずかな空き時間も大事に使う。 ◀

すん か お れんしゅう はげ
寸暇を惜しんで練習に励む。 ◀

しん き いってん
心機一転 ◀

あることをきっかけにして、気分がすっかり変わること。 ◀

ちゅうがくせい しん き いってん きゅう べんきょう
中学生になって心機一転、急に勉強するようになった。 ◀

がえ
とんぼ返り ◀

もくてき ち い よう ひ かえ
目的地へ行って用をすませて、すぐに引き返すこと。 ◀

たびさき がえ
旅先からとんぼ返りですぐにもどる。 ◀

たん どうちよくにゅう
単刀直入 ◀

まえ お ほんだい はい ちよくせつ ようてん はい
前置きをしないで、いきなり本題に入ること。直接ずばり要点に入る
こと。 ◀

たん どうちよくにゅう い い けん はんたい
単刀直入に言って、この意見に反対です。 ◀

りょうゆうなら た
両雄並び立たず ◀

おな ちから ふたり かなら あらそ
同じような力のあるものが二人いると、必ず争うようになり、どちら
かがたおれるものである。 ◀

りょうゆうなら た しゆう けっ とき き
両雄並び立たず、ついに雌雄を決する時が来た。 ◀

き
気にやむ ◀

き
気にして、なやむ。くよくよする。 ◀

せいせき き
成績が下がったことを気にやむ。 ◀

たいぜんじじゃく ◀

ゆったりと落ち着いて、いつもと変わらないようす。ゆうぜん。 ◀

じしん いえ
地震で家がゆれてもたいぜんじじゃくとしていた。